

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
小林駅周辺地区

令和2年2月

宮崎県小林市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	地域活性化拠点の利用満足度	点	1.8	4.1	3.9	確定 見込み	△	あり なし	●	3.9	R1年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	賑わい空間の創出・強化や観光情報発信機能の強化、駅周辺の歩行者ネットワークの形成・強化が図られてきており、利用満足度の向上が確認できたが、わずかに目標に達しなかった。
指標2	商店街の空き店舗数	店舗	46	46	17	確定 見込み	○	あり なし	●	17	R1年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	南北通路開通により利便性・回遊性が向上し、本計画で実施した事業によりJR小林駅周辺の拠点性が高まっている。これらの効果が波及し、空き店舗の減少につながっていると考えられる。
指標3	イベントの参加人数	人/年	61,000	111,000	112,800	確定 見込み	○	あり なし	●	73,728	R1年6月	△	H29より開始したマルシェにおいて、イベント出店者の通常営業に支障が出るといった新たな弊害が生じ、イベントが開催できなかったことから評価値と大きな差異が生じた。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちづくり組織が活躍する上でも課題であった点などを踏まえた事業と、整備した施設の積極的な活用等によって、新たなイベント等が開催されているが、一部のイベントにおいて出店者に対する新たな弊害が生じたこと等から目標に達しなかった。
指標4						確定 見込み		あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	都市機能・生活機能に関する満足度の向上	点	0	/	0.9	確定 見込み	/	/	/	0.9	H31年6月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本事業によって賑わい機能と生活環境が向上し市民満足度を高めるとともに、中心市街地に足を運ぶ機会を増やす結果につながったと考えられる。
その他の数値指標2	商店街の営業店舗数	店舗	96	/	102	確定 見込み	/	/	/	100	R1年8月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域・観光交流センター整備等により市民が中心市街地に足を運ぶ機会が増えている。このような事業効果が商店街にもプラスに働き、営業店舗数の維持・向上につながっていると考えられる。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安心・安全で快適な生活環境の強化	本計画で整備した施設の適切な維持管理に努めた。	整備した施設において、日常的な市民の利用が確認できる等、市民の生活環境の向上に資する施設となっていることが確認できる状況に至った。	今後も継続して施設の適切な維持管理に努める。
	様々な人が集うふれあい・交流拠点の利活用促進と、 まちの情報発信機能等の強化	まちづくり組織との協働による交流施設の利活用促進・情報発信等を実施した。	本市が進めるまちづくりと絡んだ利活用が促進される等、まちなかの交流施設にふさわしい場になってきている。	今後もまちづくり組織との協働により、交流施設の更なる利活用を促進する。
	官民一体となったまちづくりの展開(地域のまちづくり活動の活性化など)	継続的に官民一体となったイベント(夏祭り、秋祭り、ツデーマーチ等)を開催した。	官民一体となってイベントを進めることで、本計画で整備した広場もイベント時に活用するようになる等、新たなイベントの広がり等が出てきている。	今後も官民一体となったまちづくり体制の維持・活性化を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	「暮らしの場」や「働く舞台」としての中心市街地の機能の向上	中心市街地の居住人口を増やす取り組みとして、居住ストックとして空家を活用する取り組みや、中心市街地における昼間人口を増やす取り組みとして、小林商工会議所との連携やコワーキングスペースの活用等も含めた新規起業支援のための取り組み等を実施した。	左記の取り組みを実施したが、「暮らしの場」や「働く舞台」としての中心市街地の機能を大きく向上させる状況迄は至っていない。	今後も継続して、「暮らしの場」や「働く舞台」としての中心市街地の機能の向上に向けた検討や取り組み等を進める。
	「賑わいの場」としての中心市街地の機能の向上	観光客や市民が集う視点での施設の検討等、「賑わいの場」としての中心市街地の機能の向上に向けた検討を行った。	左記の検討等を行っているものの、具体的な改善策の実施までは至っていない。	今後も継続して、「賑わいの場」としての中心市街地の機能の向上に向けた検討等を進める。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項